

たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索

主な掲載内容

- 第1回定例会の概要…………… 2～3
- 総括質疑…………… 4
- 一般質問…………… 5～9
- 委員会審査…………… 10
- 新年度議案への討論…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

NO. **288**

2023.4.30

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

満開のしだれ桜と市庁舎

新年度予算を可決

新労使会館の完成イメージ図



令和5年第1回定例会は、下記の日程により24日間の会期で開かれました。
 本定例会では、市長が新年度予算についての施政方針や概要を示し、これに対し各会派の代表者が総括質疑を行いました。新年度予算などの議案46件を原案のとおり可決し、固定資産評価審査委員会委員及び人権擁護委員候補者の人事案件8件に同意しました。なお、請願2件は不採択、意見書案1件は可決となりました。
 また、19人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

2月22日(水)	議案上程、令和4年度議案の提案説明～議決、市長施政方針 ほか
2月24日(金)	令和5年度議案の提案説明
2月27日(月)	総括質疑（＊詳しい内容はP4）
3月1日(水)～3日(金)	一般質問（＊詳しい内容はP5～9）
3月8日(水)、9日(木)、10日(金)、14日(火)	委員会審査（＊詳しい内容はP10）
3月17日(金)	付託された議案等の委員長報告～討論～議決 ほか（＊審議結果はP12）

本定例会で可決した主な議案

新年度予算（主要事業）

■子ども医療費助成

子ども医療費助成の対象を高校生世代に拡大する。
 16億8138万円

■保育士等・介護人材家賃補助金

保育士や介護士等の確保・定着を図るため、新たに市内の保育施設や介護サービス事業所等に従事し、市内に在住する人に対して家賃の一部を補助する。
 3480万円

■児童相談所整備事業

年々増加する児童虐待事案に迅速に対応するため、児童相談所の開設に向けた準備を進める。令和7年度の開設に向け、建設工事等を実施する。
 7億995万円

■高齢者力仕事SOSサービス事業

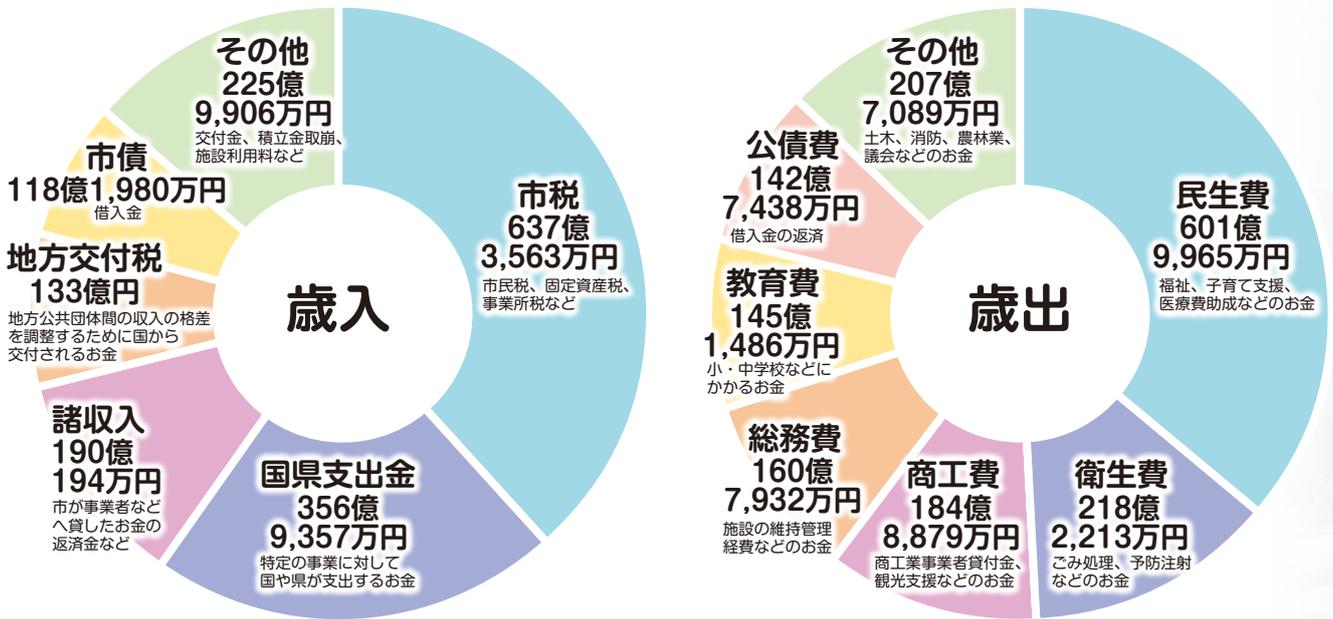
高齢者世帯の困り事の一つである重い物の移動や力仕事を代行し、高齢者の安心・安全な暮らしや生活の質の向上につなげる。
 6601万円

■出産・子育て応援事業

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産や子育てができるよう、必要な支援につなげる伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する。経済的支援では、妊娠届出時と出生届出時にそれぞれ5万円分の電子地域通貨「高崎通貨」を給付する。
 2億8389万円

予算の概要

一般会計 1,661億5,000万円（前年度比1.3%増）



※千円以下を四捨五入しているため、予算額の内訳と合計が一致しません。

特別会計 774億5,806万円（前年度比1.9%増）
 水道事業会計 104億7,426万円（前年度比0.9%増）
 公共下水道事業会計 140億1,891万円（前年度比1.5%増）

■ **施行期日** 令和5年4月1日
 犯罪被害者等に対する支援を総合的に推進するため、条例を制定する。

犯罪被害者等支援条例の制定

まちなかにある小さな公園を計画的に美化することにより、地域住民の憩いの場となるよう整備する。

■ まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画

2億5160万円

健全な道路環境を保持し、市民生活の安心・安全を確保するため、緊急舗装工事を5か年で集中的に実施する。



穴ぼこなどの改修を集中的に実施

■ 道路穴ぼこ改修特別整備事業

2億円

■ **労使会館建設事業**
 8億4880万円
 老朽化が進んだ労使会館を解体し、勤労者福祉の1層の充実と近隣住民の健康維持・増進を図る体育館機能を加えた新たな施設を整備する。令和7年度の開館を予定している。

審議に向けて

総括質疑

市長や市議会の一部
に対する
新年度予算の
総括質疑の
掲載します。

新風会

後藤 彰 議員

質疑 令和5年度予算編成に当たり重視した点は。また、5年ぶりに増額となった新年度予算の特徴は。

答弁 令和5年度予算編成に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることや、高浜クリーンセンターの建て替えなどの大型公共工事が本格化することなどを踏まえ、これまで以上に限られた財源をいかに効率良く、いかに効果のある事業に配分するかという視点で取り組んだ。また、本市の発展と活力を持続させる政策に加え、公園の美化対策、高齢者力仕事OSSサービス事業など、市民の身の回りの生活を改善する政策にも手厚く配分した手堅い予算編成であると考えている。

質疑 新年度における障害者福祉および高齢者福祉の充実に向けた取り組みは。



おとしよりぐるりんタクシーに新たなルートを追加

答弁 障害者福祉では、メロンの水耕栽培を行う障害者農業就労施設の令和6年度開設に向け、栽培施設や管理棟の整備、外構工事等を進めていく。高齢者福祉では、介護OSSサービスや高齢者等あんしん見守りシステムなどの施策を一層充実させるとともに、介護人材賃補助金を創設し、介護職の人材確保にも取り組んでいく。また、新たに長野地区において、おとしよりぐるりんタクシーの運行を開始する。これらの施策により、障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、引き続き努めていく。

市民クラブ

中島 輝男 議員

質疑 保育士情報ステーション（仮称）の事業内容は。また、事業の実施により期待できる効果は。

答弁 保育士情報ステーション（仮称）は、保育士の確保が難しいという私立保育所等からの声を受け、新たな事業として実施するものである。具体的には、専用窓口を設置し、市内の保育施設等の求人情報の提供や就労後の悩み相談のほか、再就職に向けた実習が可能な保育施設等のあっせんなどを行う。保育士が就職しやすい環境を整えることで、本市で就職したいと考える求職者の増加や、現在働いている保育士の他市への流出防止を図ることができると考えている。

公明党

新保 克佳 議員

質疑 5カ年計画で行う高崎自然歩道整備の方針は。また、自然歩道周辺にある歴史遺産を活用する考えは。

答弁 高崎自然歩道を安心して楽しく散策できるように、

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。
詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む人の日常を守る取組の強化を求める意見書



まずは分かりやすい案内板の設置や、危険で歩きづらい箇所の整備を実施する。また、手入れの行き届いていない山林等の伐採や枝落としのほか、山名城址や根小屋城址からの眺望を確保する整備も進めていく。観音山丘陵には中世の山城が連なっており、城跡には遺構が残っていることから、自然歩道の整備と併せて、これらの歴史遺産の周知にも取り組んでいきたい。

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の採択について
- 「聞こえのバリアフリー制度」を実現するための補聴器購入助成制度を求めることについて

市政を問う

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、令和5年3月現在で掲載しています。



高崎市の水害対策

白石隆夫
(新風会)

質問 河川流域全体で行う

水害対策として、本市の流域治水に対する取り組みは。



と今後の運用は。

答弁 令和元年の東日本台風では、大雨による河川の水位上昇により、本市でも

答弁 本市では、烏川および神流川流域の自治体として、烏川・神流川流域治水協議会に参画しており、地域の防災拠点となる新町防

災アリーナや、災害対策車

3台の運用、国による烏川上流築堤事業などを烏川・

神流川流域治水プロジェクトに登載し、水害対策に取り組んでいる。

質問 令和元年の台風19号

での被害を受け、対策として整備した排水施設の概要

の支援の在り方について検討が始まったところであり、その動向を注視していきたいと考えている。

質問 新生児の難病検査として、新生児マススクリーニング検査のほかに、脊髄不全症の検査を自費で受けられることの周知は。また、

これらの難病の検査費用を本市が補填する考えは。

答弁 当該難病の検査については、検査の体制や精度、検査後の治療体制に課題があるとされ、国が検証を進めていることから、その状

況を注視したい。また本市が検査費用を補填することは、検査体制等の課題がある中で検査を推奨することにつながるため、慎重に対応するべきだと考えている。

質問 高崎の新たな名物となる食の開発を官民一体とな

って行う考えは。

答弁 本市では、高崎の食発信事業や官民が連携したPRを展開しており、その結果、パスタや焼きまんじゅうの認知度が高まってきた。これらを継続するとともに、新たに高崎ほるもんや果物などのプロモーションにも力を入れ、名物となるよう後押ししていく。

質問 豊岡経大橋(仮称)の整備について、地域住民から交通渋滞を心配する声があるが、整備目的と渋滞緩和対策は。

答弁 豊岡経大橋(仮称)を含むアクセス道路は、豊岡新駅(仮称)へのアクセス向上や新駅利用者の増加を目的としており、烏川を挟んだ豊岡・小埜両地区の一体感の醸成にも寄与すると考えている。またアクセス道路の整備によって環状線の交通が分散するとともに、交差する県道あら町下室田線や国道406号に右折車線を設けることから、周辺道路の渋滞緩和につながるかと考えている。

質問 3歳未満児の保育料を、新生児の難病検査

の支援助の在り方について検討が始まったところであり、その動向を注視していきたいと考えている。

質問 新生児の難病検査として、新生児マススクリーニング検査のほかに、脊髄不全症の検査を自費で受けられることの周知は。また、

これらの難病の検査費用を本市が補填する考えは。

答弁 当該難病の検査については、検査の体制や精度、検査後の治療体制に課題があるとされ、国が検証を進めていることから、その状

況を注視したい。また本市が検査費用を補填することは、検査体制等の課題がある中で検査を推奨することにつながるため、慎重に対応するべきだと考えている。

質問 高崎の新たな名物となる食の開発を官民一体とな

って行う考えは。

答弁 本市では、高崎の食発信事業や官民が連携したPRを展開しており、その結果、パスタや焼きまんじゅうの認知度が高まってきた。これらを継続するとともに、新たに高崎ほるもんや果物などのプロモーションにも力を入れ、名物となるよう後押ししていく。

質問 豊岡経大橋(仮称)の整備について、地域住民から交通渋滞を心配する声があるが、整備目的と渋滞緩和対策は。

答弁 豊岡経大橋(仮称)を含むアクセス道路は、豊岡新駅(仮称)へのアクセス向上や新駅利用者の増加を目的としており、烏川を挟んだ豊岡・小埜両地区の一体感の醸成にも寄与すると考えている。またアクセス道路の整備によって環状線の交通が分散するとともに、交差する県道あら町下室田線や国道406号に右折車線を設けることから、周辺道路の渋滞緩和につながるかと考えている。

質問 3歳未満児の保育料を、新生児の難病検査

の支援助の在り方について検討が始まったところであり、その動向を注視していきたいと考えている。

質問 新生児の難病検査として、新生児マススクリーニング検査のほかに、脊髄不全症の検査を自費で受けられることの周知は。また、



3歳未満児の保育料を、新生児の難病検査
谷川留美子
(無所属)



全国ふるさとフェア(横浜赤レンガ倉庫)



高崎の食の発信
中島輝男
(市民クラブ)

これらの難病の検査費用を本市が補填する考えは。

況を注視したい。また本市が検査費用を補填することは、検査体制等の課題がある中で検査を推奨することにつながるため、慎重に対応するべきだと考えている。



質問 高崎の新たな名物となる食の開発を官民一体とな

って行う考えは。

答弁 本市では、高崎の食発信事業や官民が連携したPRを展開しており、その結果、パスタや焼きまんじゅうの認知度が高まってきた。これらを継続するとともに、新たに高崎ほるもんや果物などのプロモーションにも力を入れ、名物となるよう後押ししていく。

質問 豊岡経大橋(仮称)の整備について、地域住民から交通渋滞を心配する声があるが、整備目的と渋滞緩和対策は。

答弁 豊岡経大橋(仮称)を含むアクセス道路は、豊岡新駅(仮称)へのアクセス向上や新駅利用者の増加を目的としており、烏川を挟んだ豊岡・小埜両地区の一体感の醸成にも寄与すると考えている。またアクセス道路の整備によって環状線の交通が分散するとともに、交差する県道あら町下室田線や国道406号に右折車線を設けることから、周辺道路の渋滞緩和につながるかと考えている。



流域治水

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等のリスクに備えるため、集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川等の氾濫により浸水が想定される地域)にわたる流域全体の関係者が協働して水災害対策を行う考え方。

新生児マススクリーニング検査

新生児の先天性代謝異常等の病気を早期発見するために行う検査。検査費用は県が負担している。



防犯対策
防災・減災対策
三井暢秀
みついのぶひろ
(市民クラブ)

質問 組織による強盗事件や特殊詐欺が増加する中、本市が行っている防犯対策の取り組みや支援は。

答弁 本市では、各町内会からの要望を基に防犯カメラの設置を進めているほか、特殊詐欺防止機能が付いた電話装置等の購入に対して補助を行っている。さらに、防犯チラシの配布や安心ほつとメールによる不審者情報の配信など、さまざまな防犯情報も発信している。今後も各種取り組みの推進を図り、市民生活の安全・

安心の確保に努めていく。
質問 降雪に伴う路面凍結への対応として、本市における融雪剤の配布方法は。

答弁 高崎地域では、各町内会からの要請を基に、市職員が公民館などの指定された公共施設に融雪剤を運搬している。また、各町内の自主防災組織が本市の補助金を活用し、独自に調達した融雪剤を地元管理の公民館などに保管することで、有事の際の迅速な対応につながることを考えている。



高齢者のコミュニケーション
子宮頸がんワクチン
中村さと美
なかむらさとみ
(公明党)

質問 高齢者向けのeスポーツは、フレイル予防やコミュニケーションの機会を創出に有効であると考えますが、本市で導入する考えは。

答弁 eスポーツは娯楽・競技・スポーツの要素を併せ持ち、誰でも参加できることから、フレイルや認知症の予防に効果的であり、本市でも他自治体での導入

事例を踏まえ、その効果等について研究していきたい。
質問 令和5年4月から定期接種に加わる9価のHPVワクチンの安全性と効果は。また、接種対象者への周知方法は。

答弁 9価ワクチンの接種後の症状は、4価ワクチンと比較し、接種部位の症状は多いが、発熱などの全身



食材価格の高騰分を補助

症状は同程度とされている。効果としては、子宮頸がんの原因となるHPVの80%を占める7種類のウイルスの感染を予防できる。



学校給食をめぐる問題
食料安全保障と農業の振興
依田好明
よだ よしあき
(日本共産党)

質問 学校給食における食材費の負担区分を見直す考えは。また、県内の自治体の食料費補助の現状は。

答弁 本市では食材費のみを保護者の負担としているが、食材価格の高騰分は公費で負担し、保護者の負担増とならないよう配慮している。また県内では、14市町村が全額助成、6町村が一部助成、9市町村が条件付きで助成を行っている。

令和5年4月から対象者へ案内文等を順次個別に配布するほか、広報高崎や市ホームページ等で周知を図る。



質問 飼料高騰に苦しむ酪農、畜産農家の経営状態や、昨年の生乳価格の改定をどのように捉えているのか。

答弁 平成18年に1トン当

たり4万円前後だった配合飼料の購入価格が、令和4年末に10万円を超えており、農家にとって厳しい状況であると認識している。また令和4年10月に飲用向けの乳価が改定され、今後加工向けの乳価の改定の動きもある。こうした中、国や県では飼料の価格高騰対策を打ち出しており、本市としても状況の把握に努め、支援の在り方を考えていく。



子育て支援
多様性への配慮
小野聡子
おの さとこ
(公明党)

質問 子育てSOSサービスマイナンを活用するため、利用のきっかけとなる試し利用を無料で提供する考えは。

答弁 子育てSOSサービスは、1度利用してもらったことで認知度がさらに高まることを期待できるが、利用料は1時間250円と低価格であり、また生活保護世帯の利用を無料としていることから、現行の制度を維持しつつ、利用者の声も参考にしながら引き続きサービスの向上に努めたい。

質問 マイナンバーカードの受け取りは対面での本人確認が原則だが、市役所に出向くことが困難で取得をためらう人への対応は。

答弁 マイナンバーカードは、なりすまし等による不正取得を防ぐため、原則対面での本人確認を経て交付することとされているが、国において、取得に課題がある人への環境整備の検討が進められていることから、今後の状況を踏まえ、取得手続きがしやすくなるよう取り組んでいきたい。





地域活動に対する支援

丸山 健 (公明党)

質問 里山元気再生事業について、令和4年度は予算を上回る要望があったようですが、本市の対応は。また、地域活動に対する補助金の財政措置の考え方は。

答弁 令和4年度は当初予算額を上回る要望があったものの、予算の範囲内での交付とし、より多くの地域活動の支援を行った。また、地域活動に対する補助金は、事業の実績に応じて交付するもの、予算の範囲内で交付するもの等さまざまであり、各補助金の交付要綱に



基づき対応している。

質問 マイ・タイムラインを活用した水害対策の取り組み状況は。

答弁 マイ・タイムラインの作成は災害時の冷静な避難行動につながることから、本市では出前講座等で作成支援を行っている。また令和5年3月には、広報高崎に作成シートを掲載したほか、市ホームページで作成支援の動画を公開しており、今後もこれらの媒体を通じて継続的な周知に努めたい。



認定農業者制度等

青木 和也 (新風会)

質問 認定農業者および認定新規農業者の認定方法は。

答弁 認定を受けるには、認定農業者の場合は1人当たり年間農業所得400万円などを達成するための農業経営改善計画を、認定新規就農者の場合は1人当たり年間農業所得250万円などを達成するための青年等就農計画をそれぞれ作成

する必要がある。作成された計画は、市、農業委員会、県およびJAで構成する認定審査会が審査を行い、認定している。なお、農業委員や推進委員をはじめ、各関係団体と連携して計画作成の支援も行っている。

質問 認定農業者および認定新規就農者の役割は。

答弁 認定を受けた農業者



文書管理システムによる公文書管理

には、自らの経営の拡大や効率化等を図るとともに、新たな担い手の確保を推進する役割や、農地の有効利用を検討する際のリーダー

としての役割など、地域農業の維持や振興を進める上で中心的な役割を果たしてもらいたいと考えている。



公文書管理

荒木 征二 (市民クラブ)

質問 行政文書が市民利用されるには、文書の存在を知るすべとして目録を作成し、公開することが必要だと思いが、本市の考えは。

答弁 本市では、文書管理システムによって文書の所在等の情報を一元管理できるようにしているが、文書の件数が膨大であるため、目録があっても特定の文書を見つけることは困難と考えている。現状としては、

情報公開請求の窓口である市民生活課で要望をよく聞き取り、請求者が求める文書の公開につなげている。

質問 新型コロナウイルスの接種記録を20年保存とし、薬害等の方が一の事態に備えておくことが必要と考えるが、本市の見解は。



烏川かわまちづくり

命を守る取り組み (市民クラブ)

質問 高松地区かわまちづくりの計画に至った経緯は。また、今後の予定は。

答弁 高松地区では、国のかわまちづくり支援制度の認定を受け、これまでに桜観音橋や緑道の整備等を行ってきたおり、これらに続く新たな取り組みとして、高崎産フルーツなどのブランド化を図るため、和田橋上流の左岸エリアにフルーツカフェを整備することとした。今後は民間アドバイザーと協議して作成する基本構想に基づき、カフェ整

質問 新型コロナウイルスの5類移行による取り扱いの変更点は。また、移行に向けた医療体制確保のための対応は。

答弁 新型コロナウイルスが2類から5類へ移行することで、感染状況の調査が定点把握に変更となるほか、患者や濃厚接触者への行動制限等の要請ができなくなる。また入院や外来診療、PCR検査等の医療提供体制については、近々国が示す方針を勘案し、適切に対応したい。



有害鳥獣が出没しにくい環境整備と里山の元気再生のため、竹やぶの整備や里山の野草刈りなどを行う地域に補助金を交付する市の事業。

住民一人一人の防災行動計画。台風の接近等によって河川の水位が上昇したときに、自分自身とる標準的な防災行動を時系列的に整理し、取りまとめておくもの。



●里山元気再生事業

●マイ・タイムライン



脱炭素社会の実現に向けての本市の取り組み
安心して農業ができる取り組み

おさかべしんじ
長壁 真樹
(新風会)

質問 本市の公共施設の温室効果ガス排出量の削減状況は。また、森林整備によるCO₂吸収量への効果は。

答弁 公共施設での温室効果ガス排出量は、平成25年度から令和3年度までで2万4115トン、約25%削減している。またCO₂吸収量は整備した森林の成長量から算定しており、例えば35年生の杉山を1ヘクタール間伐した場合、吸収量は12・2トンとなる。このように、森林整備はカーボンニュートラル実現のための

重要な役割を担っている。
質問 有害鳥獣であるシカやイノシシのジビエ活用について、本市の考えは。

答弁 シカやイノシシの肉は、福島第一原発の事故以降、県内全域に出荷制限がかかっているが、県がシカ肉の一部解除を検討している。一部解除された場合には、貴重な資源として活用したいと考えており、部位によってペットフードなどに活用できる可能性もあるため、引き続き研究したい。



果樹農家の将来展望

からさわ たかお
柄沢 高男
(新風会)

質問 令和4年度の農業支援事業における、榛名地域の果樹農家の利用実績は。

答弁 かがやけ新規就農者応援給付金では、制度を活用した全20人のうち、2人が榛名地域の果樹農家に就農した。また農地再生推進事業補助金では、制度を活用した全15件のうち、1件が榛名地域の果樹農家で、

約0・8ヘクタールの活用が予定されている。
質問 榛名地域の果樹農家が減少傾向にあるが、高崎市産の果樹のブランド力を高めるための施策は。

答弁 本市では、農家が自ら農産物のブランド化を図るための新たなチャレンジに対し、農業者新規創造活動事業補助金により支援し

(P9参照)



災害時電話・FAX サービス



烏川上流の洪水対策
アリーナシャトルの運行改善
(日本共産党)

いとう あつひろ
伊藤 敦博
(日本共産党)

ている。また新たな取り組みとして、和田橋周辺の高松エリアに、榛名地域のフルーツなどを活用したフルーツカフェの整備を計画し

ている。引き続き、関係機関や農業者と連携を図りながら、本市の農産物のブランド力向上に努めていく。



質問 烏川流域に雷堤が設置されている下小埤地域は浸水想定区域であるが、洪水が発生する危険性が高まった場合の避難対策は。

答弁 水害が発生する恐れがある場合、小・中学校等の指定避難所を順次開設するとともに、災害時電話・FAXサービスや市職員の広報活動などにより、多重的に避難情報を発信している。また、高齢者などの自

(P9参照)



本市における一般廃棄物処理
大河原 吉明
(新風会)

おおかわら よしあき
大河原 吉明
(新風会)

力で避難できない人への避難支援も行っている。
質問 乗車率が低いアリーナシャトルの運行をイベント開催日等に限定し、それ

以外は小型車両で運行するなど、運行方法の改善を図る考えは。
答弁 アリーナシャトルは、高崎駅から高崎アリーナ、城南野球場を結ぶ公共交通であるのと同時に、地域住民の生活の足としても定着している。地元の強い要望で経路を決めていることも踏まえ、現行の運行形態を継続する中で、利用促進と利便性の向上に努めたい。



質問 本市における一般廃棄物処理の体制は。

答弁 本市では、家庭から出たごみを燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物に分別してもらい、ごみステーションで収集しており、粗大ごみについては粗大ごみ処理券を購入した家庭で戸別収集している。その後、高浜および吉井クリーンセンターにおいて、燃やせるごみは焼却処理を、燃やせないごみや粗大ごみは資源物の選別や破碎処理をしている。処理後の焼却灰およ

び不燃残渣は、エコパーク榛名等で埋め立て処理をしている。なお、粗大ごみのうち再使用可能な良品は、高崎リユースセンターにおいて抽選を行い、希望者へ無料譲渡している。
質問 一般廃棄物を処理する上での、物価高騰、電気料金の値上げ等への対応は。

答弁 今後も安定した一般廃棄物処理が継続できるように、委託業者への委託料について調査検討を行い、適切な対応を図っていく。



●ジビエ フランス語で、狩猟によって捕獲した野生鳥獣の肉や料理のこと。
●かがやけ新規就農者応援給付金

新規就農者の増加および就農の定着化を図るため、新規就農者へ給付金を支給する本市独自の取り組み。



障害福祉政策

林 恒徳
(市民クラブ)

質問 障害者福祉サービスが行政による措置から契約制度に変わったが、障害者福祉費の決算額の変遷は。

答弁 障害者福祉費の決算総額は、概算額で、措置時代最後の年である平成14年度が17億3500万円、措置から契約に変わった15年度が17億7800万円、市町村合併が終わった21年度が36億6300万円、契約制度に移行して10年が経過した24年度が54億2400万円、令和3年度が96億7600万円となっている。

質問 自立支援給付費等が増加している背景や要因は。

答弁 障害者自立支援法の施行以降、国が地域移行へ大きくかじ取りをしたことや、8050問題や親亡き後の支援としてグループホームに対する需要が高まってきたことが要因と考えている。また、発達障害が障害として社会に認知されたことにより、就労支援や障害児への療育に対する需要が高まってきたことも、要因の一つと考えている。



子どもの睡眠が学力や運動能力に与える影響

清水 明夫
(新風会)

質問 子どもの睡眠に係る国の各種調査の結果は。また、本市の子どもに対する睡眠改善の指導状況は。

答弁 国の調査では、毎日同じくらいの時間に起床、就寝している子どもは、8時間程度の睡眠を取っている子どもは、体力合算点が高いことが報告され

ている。本市でも学力、運動能力共に同様の傾向が見られることから、各種調査結果の分析等を踏まえ、子どもの生活習慣の改善に向けた取り組みを行っている。

質問 子どもの睡眠改善に向けた本市の取り組みは。

答弁 本市では、成長期の子どもにとって睡眠は非常に重要であるという考えか



中小企業就職奨励金 子ども達からの相談対応

逆瀬川 義久
(公明党)

質問 中小企業就職奨励金の交付状況は。また学校卒業後1年以内に就職という申請条件を拡充する考えは。

答弁 就職奨励金は、令和4年10月から受け付けを始め、令和5年2月末時点で約300人から申請があった。交付した奨励金のうち、約1500万円分が市内の店舗で使用されている。また申請条件の拡充については、現時点で通年の実

ら、各学校において睡眠をテーマとした学校保健委員会等を開催しており、家庭と連携した生活習慣の改善にも取り組んでいる。今後

も子どもたちが規則正しい生活を送れるよう、こうした取り組みを一層充実させていきたいと考えている。



スポーツによるまちづくり 三島久美子 新町支所の建て替え(市民クラブ)

質問 本市において、今後アイスアリーナやスケートボード場を整備する考えは。

答弁 令和4年3月にニューサンピアが閉鎖し、市内にアイスアリーナがなくなった影響や、スケートボードの人気の高まりは認識しているが、これらのスポーツ施設を新設する計画はない。本市としては、市民スポーツパーク(仮称)などの整備により施設の充実を図り、多くの市民がスポーツに親しめるよう、スポーツ振興に努めていく。

レットを活用して児童・生徒から相談を受ける体制は。
答弁 いじめ・SNS電話相談は、平日の午前8時30分から午後10時まで開設しており、市教育委員会で受けている電話相談全体の1割弱となっている。また、各学校ではタブレット内のアプリによる個別相談も可能となっており、今後もタブレットを活用した相談体制の充実にも努めたい。



質問 新町支所の建て替えについて検討することを強く望むが、本市の考えは。

答弁 新町支所の建て替えについての課題認識は常にあるが、新町地域では保健センターや駅周辺の整備等、市民サービスを提供する施設についても併せて検討する必要があると考えている。これらの施設の位置付けや支所機能の在り方、また財政状況などを総合的に勘案し、引き続き検討を進めていきたいと考えている。



いじめ・SNS電話相談

自分のことや 友だちのこと
心配なことがあったら聞かせてね

027-321-1359

相談時間 月曜日～金曜日 8:30～22:00

高崎市教育委員会

いじめ・SNS電話相談カード

●農業者新規創造活動事業補助金 (P8参照)

農業の生産基盤である農用地の確保・維持を推進するため、荒廃農地の整備から整備後の農地での生産活動に必要な農業用設備・機械の導入までを総合的に支援する事業。

●霞堤 (P8参照)

堤防のある区間に開口部を設け、上流側と下流側の堤防が二重になるようにした不連続な堤防。洪水時には開口部から水が逆流して堤内地にたまり、下流に流れる水量を減少させる。

委員会審査

総務常任委員会

質疑 ふるさと納税について、令和5年度に向けての本市の考えは。

答弁 本市のような都市部はふるさと納税制度に弱いとされているが、今後も地場産品を全国の人に知ってもらうため、返礼品の新規開拓を進めるとともに、本市を取り扱うポータルサイトを増やすなど、PRをしていく必要があると考えている。

質疑 令和5年度の榛名湖アーティスト・レジデンス運営事業の予算が令和4年度より増額した理由は。

答弁 榛名湖アーティスト・レジデンスの建物は、建設から50年以上が経過して老朽化が進み、雨漏りや水道管の腐食などが見られることから、各所の改修工事を行うため増額したものである。

市民経済常任委員会

質疑 令和5年4月から実施する高校生世代の医療費無料化の財源は。

答弁 高校生世代の医療費無料化に係る経費は、これまで実施している中学生までの医療費助成と異なり、県の補助金の対象外であるため、全額市の負担となる。

質疑 最終処分場次期候補地選定調査委託料の内容は。

答弁 現在の最終処分場であるエコパーク榛名は、補強工事により令和15年度まで埋め立て期間の延長が可能となったが、最終処分場は候補地の検討から供用開始までに長い期間を要する事例もあるため、次の候補地選定の準備として調査を実施するものである。



エコパーク榛名

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンターの外柵等工事の内容は。

答弁 新施設の外周に、門扉やフェンス、ガードレール等を設置するもので、令和5年度は主に設計を行い、令和6年度に着工する予定である。



建設中の高浜クリーンセンター

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 次世代育成支援対策施設整備交付金の内容は。

答弁 当該交付金は児童福祉施設の新設や修理等に対する国の交付金で、児童相談所建設工事のうち、一時保護所の整備に対して交付を受けるものである。

質疑 保育士情報ステーション（仮称）の事業内容は。

答弁 保育士確保策の一環として、専用窓口を設置し、市内の保育施設等の求人情報の提供や就労後の悩み相談などを行うものであり、令和5年6月に開設予定である。

質疑 おとしよりぐるりんタクシーの新規ルートとして長野地区を選定した理由は。

答弁 おとしよりぐるりんタクシーが運行していない地区の中で最も高齢化率が高いことや、地区内の公共交通の現状、大型スーパーがないことを背景に選定した。

建設水道常任委員会

質疑 連雀町地区優良建築物等整備事業の概要は。

答弁 連雀町地区のスクランブル交差点の北西角地のビルが対象で、連雀町地区の複数の地権者が敷地を共有化し、建物を整備することで高度利用を図る事業である。主な用途としては、住宅や子育て支援施設等のテナントのほか、駐車場等を整備する計画である。

質疑 烏川2号緑地根小屋エリア基本構想策定委託料の委託内容は。

答弁 烏川2号緑地根小屋エリアでのスポーツゾーンを含む緑地の整備に向け、施設配置等の基本構想を策定するものである。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 新たな労使会館の屋上に設置する太陽光パネルの発電量は。また、発電した電力の活用方法は。

答弁 年間約5万8,000キロワット時の発電量が見込まれる。この発電量は建物全体で消費する電力の約20%に当たり、施設で使用する電力の一部として活用していく。

特別委員会委員長報告

●環境施設建設特別委員会

調査項目－高浜クリーンセンターの建設及び関連する施設の整備

建設工事が本格化する中、令和6年度の完成に向けて着実に事業が実施されるよう、事業費や進捗状況について確認した。安全かつ適正な処理を継続的に実施できる施設にしていきたい。

●防災・危機管理対策特別委員会

調査項目－安心・安全なまちづくりに向けた防災対策や危機管理体制

災害時電話・FAXサービスの導入や、新町地域と吉井町中島地区への排水施設の整備など、近年激甚化する災害への備えが進んでいる。今後も地域防災への支援を一層強化していきたい。

●都市集客施設整備特別委員会

調査項目－高崎市都市集客施設基本計画に基づく整備及び労使会館建設事業

再開発事業での新たな計画について協議するとともに、体育館機能が追加される労使会館の設計概要を確認した。今後も議論を重ね、市民の誇りとなるような施設にしていきたい。

●子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

調査項目－子どもと子育てに優しい住みやすいまちづくりに向けた子育て支援・定住人口増加対策

ヤングケアラーSOSの創設に当たり、実態の把握方法などを議論した。子育て支援に加え、移住・定住を促進する事業を充実させ、本市の魅力を発信することで定住人口の増加につなげていきたい。

新年度議案への討論

賛成

●「新しい高崎」の実現に向けて(新風会)

歳入の骨幹である市民税、固定資産税共に増額を見込んでいることは、本市が市内経済の活性化に取り組んできた成果である。また新たに高齢者力仕事SOS事業など、さらなる成長、発展に向けた多くの事業が提案されている予算編成に賛成する。

賛成

●背伸びをしていない予算編成(市民クラブ)

障害者農業就労施設の整備など、独自の事業を評価するとともに、国の交付金も活用し、本市の実態に合った予算編成としたことに賛成する。

賛成

●本市のさらなる発展と市民福祉向上(公明党)

医療的ケア児の教育環境整備や、高校生世代までの医療費無料化など、全国トップクラスの子育て環境の充実につながる取り組みを評価する。

反対

●学校給食費の無料化を(日本共産党)

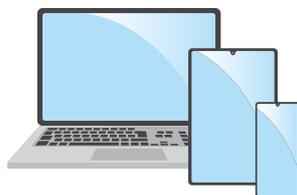
学校給食費の無料化が反映されていない予算編成に反対し、市民が求める子育て支援として、無料化を早期に決断することを求める。

さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ(会議録検索)や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。

今回の本会議については6月上旬に公開予定です。

- 市民情報センター(市役所1階)
- 高崎市立図書館(中央館及び地域館)
- 倉渕公民館図書室



同意した人事案件

●固定資産評価審査委員会委員

はとり たけひさ
羽鳥 武久氏

●人権擁護委員候補者

えぼら あきひろ
江原 章博氏
かめだ しんや
亀田 慎也氏
さげはし まりこ
提箸 万里子氏
かとう ひろこ
加藤 仁子氏

こうま さとし
高麗 敏氏
しまざき けんじ
島崎 賢二氏
うめき まもる
梅木 守氏

